

(2019 年度分)

<p>団体名</p>	<p>一般社団法人のあつく自然学校</p>		
			
			

キャンプでは、市街地から離れた場所での活動が多くなり、救急車がなかなか来ないような状況下での活動が多くなる。その際に万が一の事故が起きた場合、カウンセラー（ボランティアスタッフ）達も迅速な対応ができるようになることを目的とした。

初めの座学では、実際に起こった事故事例の紹介や傷病者評価システム、SOAP ノートの書き方、リスクマネジメントの練習を行った。その他、キャンプ中に多い怪我（擦り傷、切り傷、火傷）の処置の仕方、熱中症の対処、予防について、キャンプに参加する子どもにも多い喘息やアレルギーの対処法を細かく説明した。

そして今回は、実際の事故を想定してシミュレーションを行った。傷病者役、カウンセラー役に分かれ、この事例の時はどのように対応をするかカウンセラー達自身に考えさせた。

最後に AED を使い心肺蘇生法についての理解を深めた。この救急法研修を行うことで、カウンセラー達がキャンプに参加した際の「どうすればいいのかわからない」という不安を減らすとともに、子どもが怪我をした際にすばやく動くようになった。